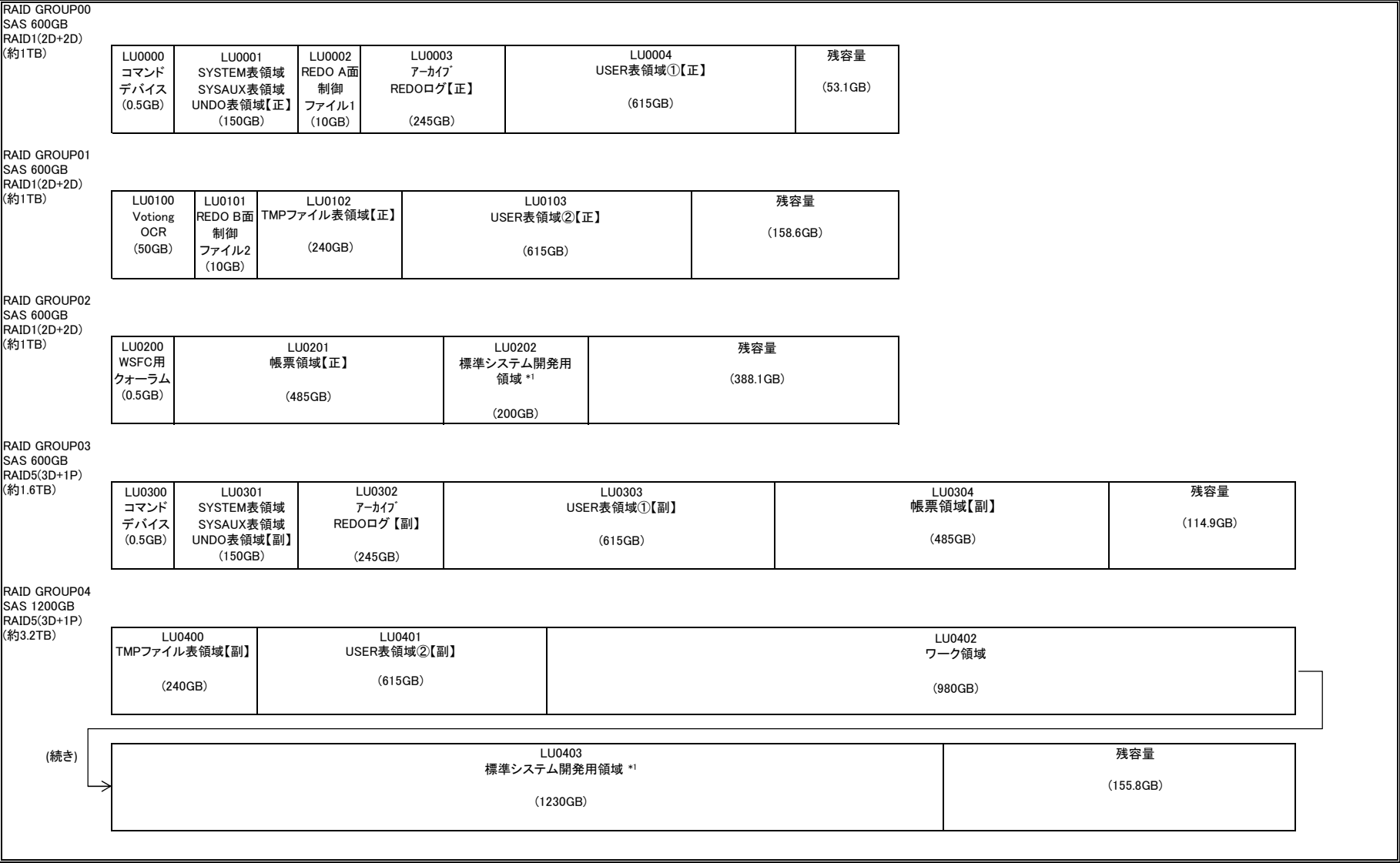


■ディスク構成図



*1 標準システムの開発用として使用する領域のため、各広域連合は不要。

システムテスト環境ストレージディスク構成図

■ディスク構成一覧

#	RAID GROUP	RAID構成	LU	領域名	容量(GB)	用途	フォーマット	備考
1	00	RAID1(2D+2D)	0000	コマンドデバイス	0.5	RAID Manager コマンド受領用領域として使用する。	—	
2	00	RAID1(2D+2D)	0001	SYSTEM表領域、SYSAUX表領域、UNDO表領域【正】	150	Oracle SYSTEM/SYSAUX/UNDO表領域として使用する。	ASM	
3	00	RAID1(2D+2D)	0002	REDO A面、制御ファイル1	10	Oracle REDOログおよび制御ファイルの格納領域として使用する。	ASM	
4	00	RAID1(2D+2D)	0003	アーカイブREDOログ【正】	245	Oracle アーカイブREDOの格納領域として使用する。	ASM	
5	00	RAID1(2D+2D)	0004	USER表領域①【正】	615	Oracle USER表領域として使用する。	ASM	
6	01	RAID1(2D+2D)	0100	Voting、OCR	50	Oracle RACデータベースの構成情報の管理として使用する。	ASM	
7	01	RAID1(2D+2D)	0101	REDO B面、制御ファイル2	10	Oracle REDOログおよび制御ファイルの格納領域として使用する。	ASM	
8	01	RAID1(2D+2D)	0102	TMPファイル表領域【正】	240	Oracle のTMP表領域として使用する。	ASM	
9	01	RAID1(2D+2D)	0103	USER表領域②【正】	615	Oracle USER表領域として使用する。	ASM	
10	02	RAID1(2D+2D)	0200	WSFC用クォーラム	0.5	帳票WSFC用 クォーラム領域に使用する。	NTFS	
11	02	RAID1(2D+2D)	0201	帳票領域【正】	485	帳票生成に関わるファイルの格納領域として使用する。	NTFS	
12	02	RAID1(2D+2D)	0202	標準システム開発用領域	200	標準システム開発用領域として使用する。	NTFS	各広域連合は不要
13	03	RAID5(3D+1P)	0300	コマンドデバイス	0.5	RAID Manager コマンド受領用領域として使用する。	—	
14	03	RAID5(3D+1P)	0301	SYSTEM表領域、SYSAUX表領域、UNDO表領域【副】	150	Oracle SYSTEM/SYSAUX/UNDO表領域の副ボリュームとして使用する。	ASM	
15	03	RAID5(3D+1P)	0302	アーカイブREDOログ【副】	245	Oracle アーカイブREDOログ領域の副ボリュームとして使用する。	ASM	
16	03	RAID5(3D+1P)	0303	USER表領域①【副】	615	Oracle USER表領域の副ボリュームとして使用する。	ASM	
17	03	RAID5(3D+1P)	0304	帳票領域【副】	485	帳票領域の副ボリュームとして使用する。	NTFS	
18	04	RAID5(3D+1P)	0400	TMPファイル表領域【副】	240	Oracle TMP表領域の副ボリュームとして使用する。	ASM	
19	04	RAID5(3D+1P)	0401	USER表領域②【副】	615	Oracle USER表領域の副ボリュームとして使用する。	ASM	
20	04	RAID5(3D+1P)	0402	ワーク領域	980	ワーク領域として使用する。	NTFS	
21	04	RAID5(3D+1P)	0403	標準システム開発用領域	1230	標準システム開発用領域として使用する。	NTFS	各広域連合は不要

■ディスク構成の考え方

- ①RAID構成
 - ・RAID GROUP00～01
Oracle Databaseとして使用する領域を配置し、業務処理で使用されるため、性能面が優れる「RAID1」構成とする。
また、Oracle ASMによるストライピング数を増やし、性能を向上させるため複数のRAID GROUP構成とする。
 - ・RAID GROUP02
帳票データとして使用する領域を配置し、業務処理で使用されるため、性能面が優れる「RAID1」構成とする。
 - ・RAID GROUP03～04
バックアップ先として使用する領域やワーク領域を配置し、業務性能に影響がないため、容量効率が優れる「RAID5」構成とする。
- ②LU構成
 - LU構成については、使用する用途ごとにLUを分けた構成とする。